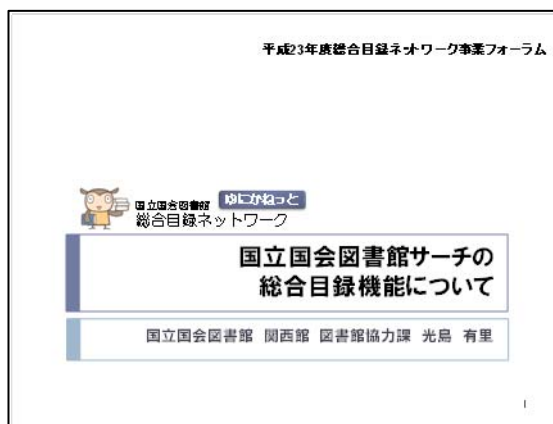


3. 報告「国立国会図書館サーチの総合目録機能について」



国立国会図書館関西館図書館協力課協力ネットワーク係副主査
光島 有里

図書館協力課で総合目録ネットワーク事業事務局を担当している光島と申します。続けて私からは、NDL サーチの総合目録機能を中心にお話させていただきます。



NDL サーチの検索画面と事業参加館用の管理画面を説明し、最後に、今年の 1 月にリニューアルした事業ホームページをご紹介します。



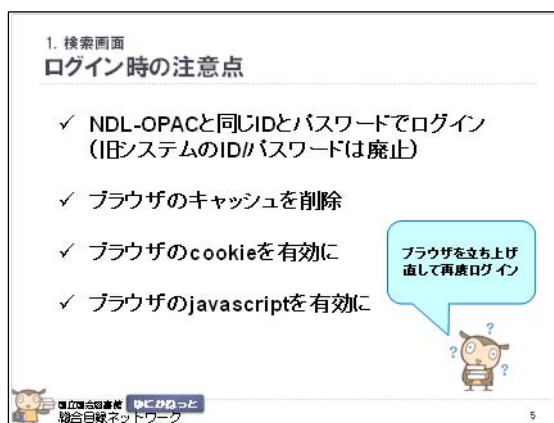
それでは 1 の検索画面からご覧いただきます。



NDL サーチ検索トップ画面の左上に表示される水色のログインボタンからログインすると、事業参加館は相互貸借支援機能を使用可能となります。



ログイン時の注意点を 4 点挙げています。旧ゆにかねっとシステムの ID、パスワードは使えません。代わりに、当館の登録利用者の ID、つまり NDL-OPAC にログインする時と同じ ID、パスワードを入力してください。また、ログイン時に、画面が切り替わらなかったり、「TEST OK!!!」の文字だけが出る場合があります。原因としてブラウザのキャッシュに古いデータが残っていること、あるいはブラウザの cookie、



javascript の設定が無効になっていることが考えられます。ログインがうまくいかない場合は、ブラウザのキャッシュを削除し、cookie と javascript の設定が有効になっているかご確認のうえ、ブラウザを立ち上げ直して再度ログインをお試し下さい。

では、実際にログインします。**デモ**
ログインすると、検索画面右上にログイン中の図書館名が表示されます。簡易検索画面、詳細検索画面、時々に応じて検索し易い方を使い分けていただくと良いのですが、詳細検索画面では、予め細かな指定をして検索できます。例えば、データベースは国立国会図書館蔵書と公共図書館蔵書のみを選択、資料種別は本のみを選択すると、当館所蔵の雑誌等もヒットするため、旧ゆにかねっとシステムよりもやや広い括りにはなりますが、相互貸借依頼が可能な資料に絞って検索できます。検索語「電子図書館」で検索します。**デモ**



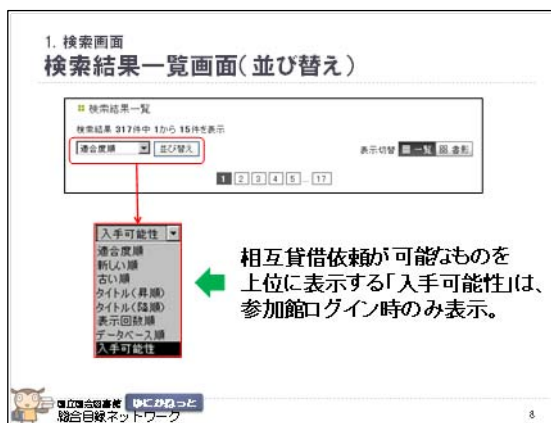
検索結果一覧画面に遷移しました。「ILL連携」と緑色の文字が表示されるのは、NDLサーチを通じて都道府県立図書館・政令指定都市立図書館に相互貸借依頼が可能な資料であることを示します。この緑色の文字は、事業参加館がログインした場合のみ、表示されます。



なお、国立国会図書館蔵書に関しては、NDLサーチからではなく、NDL-OPACに遷移して複写等の申込をしていただきます。システム統合前の旧ゆにかねっとシステムでは、NDL-OPACに直接遷移できず、NDL-OPAC画面を新たに立ち上げてログインし、一から検索をし直すという手間がかかりましたが、NDLサーチでは、リンクをクリックするだけでNDL-OPACの書誌詳細画面に遷移できます。**デモ**

NDLサーチでログインを済ませていれば、今のようにログインした状態を引き継いでNDL-OPACに移り、スムーズに当館資料の申込画面まで進めます。ただし、反対に、予めログインを済ませていない場合は、NDLサーチ、NDL-OPAC共に、途中でログインした時点でログインしていなかった時の検索履歴は消去されるため、もう一度最初から検索し直す必要が生じます。検索だけでなく、申込に進む可能性がある場合は、予めログインを済ませてから検索されることをお勧めします。

検索結果一覧は、プルダウンメニューで並び替え条件を選択し、検索結果の表示を変更できます。適合度順、出版年が新しい順、古い順、タイトル昇順、タイトル降順、表示回数順、データベース順の他、参加館がログインすると、「入手可能性」順も表示されます。「入手可能性」を選択すると、相互貸借依頼が可能なものを上位に表示します。



検索結果一覧に表示された資料のタイトルをクリックし、書誌詳細画面に遷移すると、右列の「見る・借りる」欄に資料を所蔵している図書館が表示されます。[デモ]今はテスト用のアカウントでログインしているため、図書館の並びが北から南の順になっていますが、3月7日に改修を実施し、現在はログイン中の図書館の所在地に応じて、所蔵館の近い順に表示されます。また、図書館名の末尾に「依頼」の文字が付与されています。



この「依頼」リンクは、事業参加館がログインした時に限り、表示されます。この依頼リンクをクリックすることで、相互貸借依頼に進むことができます。

すると、「所属地区への依頼を優先してください」と表示されることがあります。これは、一種のアラートです。例えば、近畿地区に所属する図書館が、同じ近畿地区で資料を所蔵する館が存在するにもかかわらず、他の地区へ相互貸借を依頼しようとする場合に表示されます。NDL サーチでは、全国公共図書館協議会の定める公共図書館間資料相互貸借指針に基づいて、系統的に自分の所属する地区に貸出を依頼するように誘導する仕組みが取り入れています。



さらに進むと、所蔵事項、相互貸借情報の確認画面に切り替わります。NDL サーチ正式稼働直後は、図書登録番号を表示できずご不便をおかけしましたが、2 月 2 日から所蔵事項欄で図書登録番号をご確認いただけるようになっています。相互貸借情報を確認・同意し、画面下の「相互貸借情報に同意します」のボタンをクリックします。



すると、貸借依頼をする際の手段を選ぶ画面に遷移します。資料所蔵館の対応状況に応じて、電子メール送信と FAX 書式表示ボタンの両方、もしくはどちらか一方が表示されます。電子メールの場合は、NDL サーチの画面から相手先の図書館に依頼メールを送ることができます。FAX 書式は、プリントアウトし、相手先に FAX で送信いただくことになります。



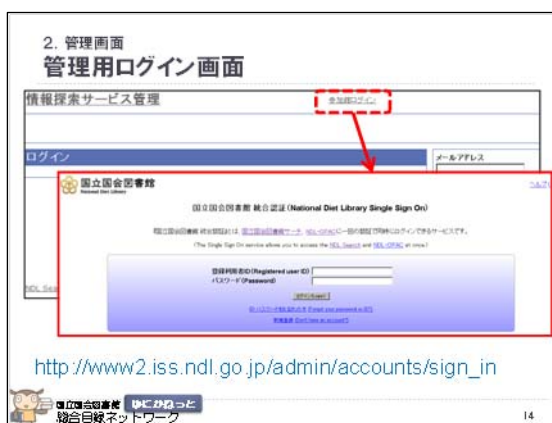
なお、1 点お詫びがあります。現在、一部の図書館に対して相互貸借依頼に進めない障害が生じております。ご迷惑をおかけし申し訳ございません。来週中には不具合を解消する予定です。

【補記】3 月 16 日夜に対応を実施し、上記の障害は解消しております。

2 の管理画面に移ります。



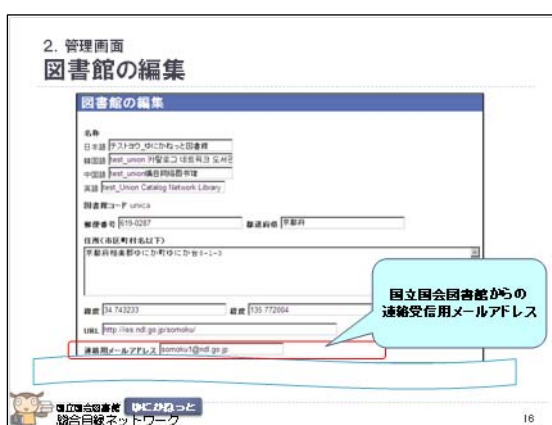
管理画面は、事業参加館のみ使用する画面のため、NDL サーチの検索画面からはリンクをしておりません。直接 URL を入力してアクセスいただくか、この後ご紹介する事業 HP のリンクを辿っていただく必要があります。画面右上の参加館ログインをクリックすると、検索画面と同じログイン ID、パスワードを入力する画面に遷移しますので、NDL-OPAC の ID、パスワードを入力していただきます。



ログインできると、画面右上に図書館名が表示されます。赤枠で囲っている編集の文字をクリックすると



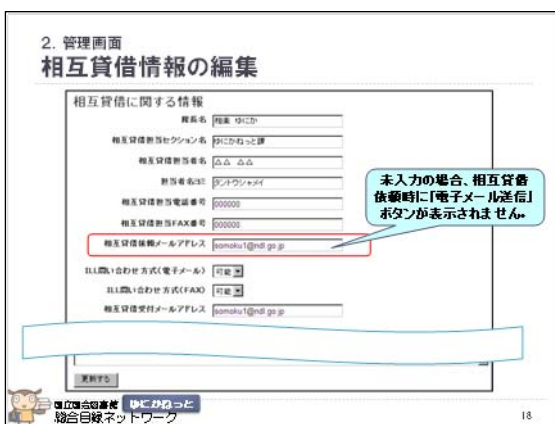
図書館情報と相互貸借情報の編集画面に遷移します。図書館の編集欄にある連絡用メールアドレスとは、当館から参加館宛てに連絡する際に使用するメールアドレスとなりますので、変更が生じましたら忘れずに更新をお願いいたします。また、データ提供館の方は、システムリブレース等で OPAC トップページ URL が変わることがありましたら、URL を修正してください。



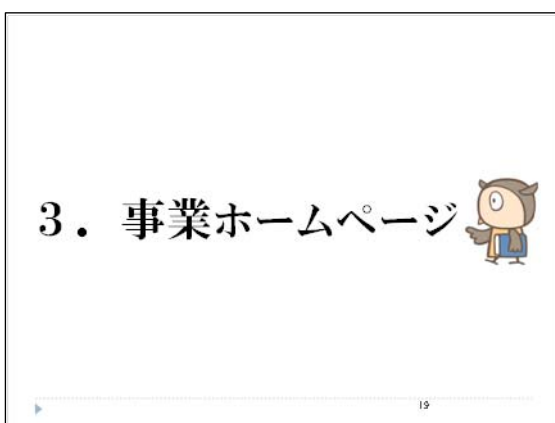
といいますのも、管理画面に入力いただく URL は、検索画面の「見る・借りる」欄に表示される所蔵館のリンク先と連動しているからです。お手数ですがデータ提供館の方は、リンク切れが発生しないよう、ご協力をお願いいたします。




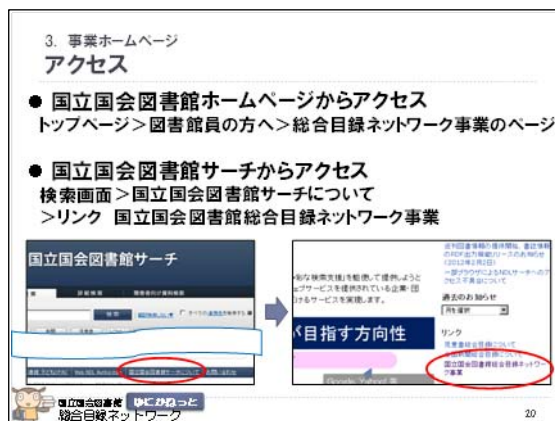
相互貸借情報の編集は、館長名や相互貸借担当者名など、項目ごとに入力する欄が分かれて表示されますので、参加館の方は適宜修正をお願いいたします。相互貸借依頼メールアドレスが未入力な場合、電子メールでの相互貸借依頼はできませんので、ご注意ください。



最後に、今年 1 月にリニューアルした事業 HP を紹介します。

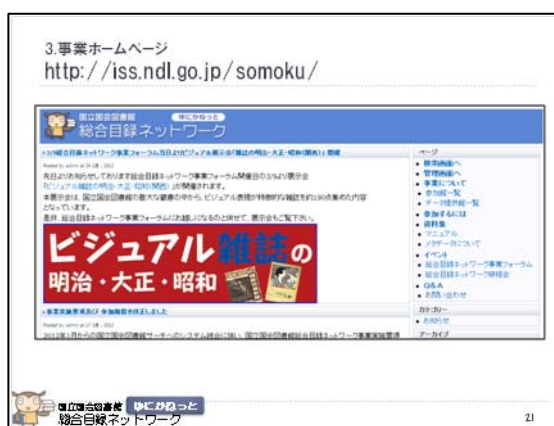


事業 HP には、当館 HP もしくは、NDL
 サーチの画面から遷移いただけます。



URL は、スライドの見出しに記載してあるもので、旧事業 HP の URL とは異なります。右列に NDL サーチの検索画面と管理画面へのリンクを張っています。

「参加するには」のページには、この度のシステム統合により改正した事業実施要項と参加規程を掲載しています。また、参加館向けの操作マニュアルを掲載し、随時更新しております。その他、都道府県立図書館 OPAC 一覧画面も作成しておりますので、ご活用ください。



以上、簡単ですが NDL サーチの総合目録機能と事業 HP を紹介いたしました。ご清聴ありがとうございました。

